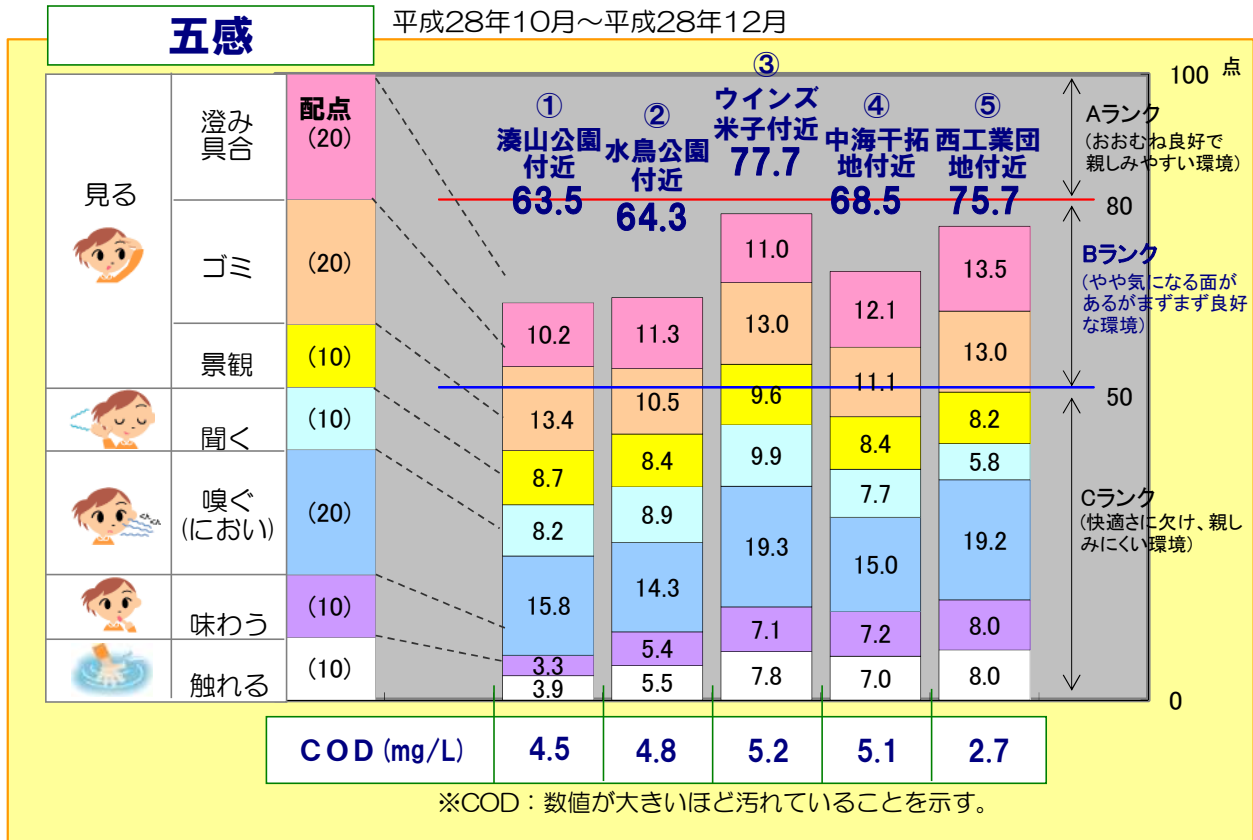


中海湖沼環境モニター通信

平成29年1月

第10期モニター中間集計 (第1四半期:平成28年10月~12月)

モニターのみなさん、今年もよろしくお願ひします。第3四半期の結果を集計しましたのでお知らせします。



- 合計点は、5カ所すべてでBランクだった。
(最高点:③ウィンズ米子付近 77.7点、最低点:①湊山公園付近 63.5点)
- 「澄み具合」は、第2四半期(7~9月)と比べ、すべての地点で良くなっていた。
- CODは第3四半期と比べ、全体的に低くなっていた。

モニター感想・気づいたこと (ほんの一部です)

(※)提供いただいた写真は中海湖沼環境モニターのホームページに掲載しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=71255>

- ① 湊山公園付近
- 【10月】岸に近い場所ですくった水は、透明だがやや黄色みを帯びていて、CODは8以上だった。(CODが8以上はモニターになってから初めて)
 - ・遊歩道には茶色、緑色のどんぐりが転がっていて、秋の気配を感じた。
 - ・漂着物がたくさんあったので、残念ながらゴミのところは0点でした。
 - 【11月】風が少しあったので、波がパチャパチャ音を立てていた。湖岸には無数の小さな泡が舞い踊っていた。
 - ・前回よりゴミが少なくなっていた。そのほかにも、臭いがなく、車の音がとてもよく聞こえた。もしかしたら風が音を運び、ゴミと臭いを連れ去ったのかもしれないね、と母と話していた。
 - ・水面は穏やかだが、水がにごっていた。透明度が日々変わる原因を具体的に知りたい。
 - 【12月】コハクチョウが5羽遊びにきていた。水鳥多し。
 - ・水位が高く、岸辺の岩のほとんどが隠れていた。遊歩道、岸辺にゴミはほとんどなかった。
 - ・潮が引いていて、普段は水に沈んでいる岩場の貝や海藻が確認できた。
 - ・天候も良く、雪をかぶった大山がくっきりと見えて空気が澄んでいた。

② 水鳥公園付近

【10 月】風がなく、沖には 100 羽程度のカモが浮かび、魚もとびはねて景色がよかったが、水がとてにごっていた。

- ・風が強く、風の音以外はヒヨドリの声くらいしか聞こえない。岸辺にセイタカアワダチソウが群生していた。
- ・赤潮が発生し、安来港から米子湾一帯にかけて確認された。
- ・キンクロハジロとオナガガモが数十羽群れていた。

【11 月】透明度が高く水がきれい。湖面もきらめき美しく、心がなごむ景色である。水面には、数十羽のオオバンが群れていた。

- ・カモ類の種類、数ともに増えてきており、夕方のこの時間帯はたくさん飛んでいて、シロサギが群れを作って飛んでいた。
- ・10 月 16 日にアダプト清掃があったばかりだが、すでに大きなゴミが流れ着いていた。

【12 月】先月同様透明度が非常に高く 100 cm 以上あった。

- ・曇ひとつない天気だったが、湖岸のゴミは 10 月、11 月より多く見られた。木やナイロン袋、プラスチックなどのゴミがあった。
- ・湖面にカモ類はみられず、鳥もほとんど飛んでいなかった。
- ・先月より水鳥が少なく感じた。



③ ウィンズ米子付近

【10 月】漂着物が減らない。昔は湖岸にヨシが群生していて、鳥やトンボが群れ、ハゼ類やウナギがたくさんいた。ズボンをまくって入れる浅瀬があり、人も水辺にたくさんいた。人が寄ってくる水辺を実現しよう。

- ・湖面は穏やかで遠方の湖面が見えるほど澄んでいた。
- ・久しぶりにおだやかな日。カワウが飛び、ボラがとびはね、カモの親子が楽しそうに泳いでいた。

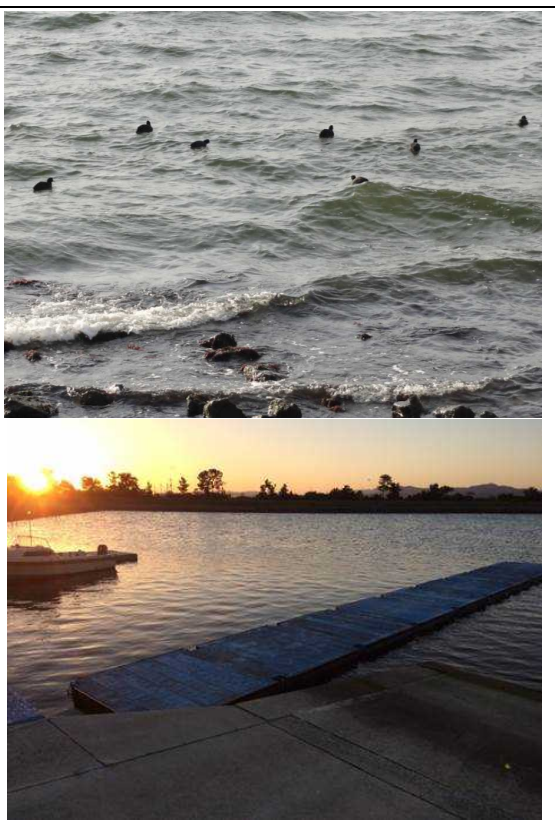
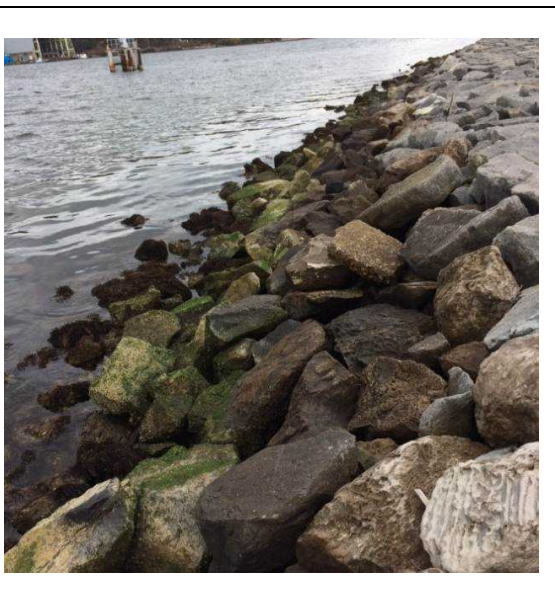
【11 月】離岸堤にカワウ 10 羽。カモが 3 グループ約 60 羽湖岸近くにいたが、足音におどろいて一斉に沖に向かって飛んでいった。

- ・強い北風と大きな波が岸を洗っていた。
- ・水鳥が気持ちよさそうに群れで泳いでいた。水はとてきれいで、2m くらい見えた。

【12 月】カモが 200~300 羽湖岸の近くで泳いでいたが、足音に驚いて一斉に沖に向かって飛んでいった。

- ・水がにごり湖底が全く見えなかった。漂着ゴミが減らない。
- ・天気が良く 360° の視界が広がり島根半島から大山、孝霊山の眺望が素晴らしかった。



<p>④ 中海干拓地付近</p>	<p>【10月】先週の雨のためか、先月より湖水がにごっていた。 <ul style="list-style-type: none"> ・キューピー山に沈む夕日がきれいだった。 ・岸辺にハゼの姿がなかった。昔はこの時期は好漁期だったが、いなくなってしまった。 <p>【11月】ゴミの量にあまり変化は感じられなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・中浜港の棧橋付近にゴミが集まると予測していたが、ゴミはなかった。 ・石積みの護岸には木の枝やヨシの茎が打ち上げられていたが、これは自然のものだから仕方がないだろう。そのほかプラスチックの容器の破片などもあった。 <p>【12月】風がなくとても穏やかで、カモがのんびりと浮かんでいた。いつもきれいならしいのに。 <ul style="list-style-type: none"> ・荒天が続いたので打ち上げられるゴミが多くなっているかと思ったが、前回の調査から変化はなかった。 ・時化で水が少しにごっていたがCODの値は良くなっていた。水温が下がったせいだろう。 </p></p></p>	
<p>⑤ 西工業団地付近</p>	<p>【10月】これまで水温が高くて秋の魚が釣れなかったが、下がりをはじめて釣り人が増え、チヌ、カレイ、ヒイラギ、キス、ヘイズダイ、セイゴ、アジなどが釣れだした。 <ul style="list-style-type: none"> ・海水が少し濁っていた。ウミネコがのんびりと浮かんでいた。 <p>【11月】一時釣れていた魚がこのところ芳しくなく、釣り人の姿も見られない。この時期は例年もルアーで40～50cmほどのセイゴを目当てにたくさん釣りが集まるが、今年は誰もいなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・風がなく海面が鏡のように輝いてきれいだった。半島の紅葉が始まりとてもきれいだった。 <p>【12月】干満の差が大きくなり、調査時で夏季に比べて75cmほど潮位が下がっていた。 <ul style="list-style-type: none"> ・島根半島の紅葉が終わり、冬枯れしていた。 </p></p></p>	

「秋の中海一斉清掃」に参加しました (大松建設株式会社)

10月16日に彦名地区を中心に行われた「秋の中海一斉清掃」に参加しました。

当社は、平成25年度に中海アダプトプログラムに参加し、以降、6月の「中海・宍道湖一斉清掃」や単独の清掃活動を継続して行っています。

今回は他団体のみなさまを含め、100名を超える参加者で約2時間清掃し、多くの漂着物などが回収できました。

日曜日の清掃活動でしたので、当社の従業員とその家族で参加しました。

天候に恵まれ汗ばむ中での作業に、当社の経営理念である『喜びづくり』や地域の貢献として心地よい気分で活動しました。

参加された他の団体のみなさんもお疲れ様でした。

今回も大量のゴミが回収され、中海とその周辺の環境保全につながりました。



清掃の前の開会式



多くの方が参加されました。



家族で清掃活動中♪



※この記事は、中海湖沼環境モニターに参加されている大松建設株式会社（米子市彦名町）Kさんに御投稿いただきました。

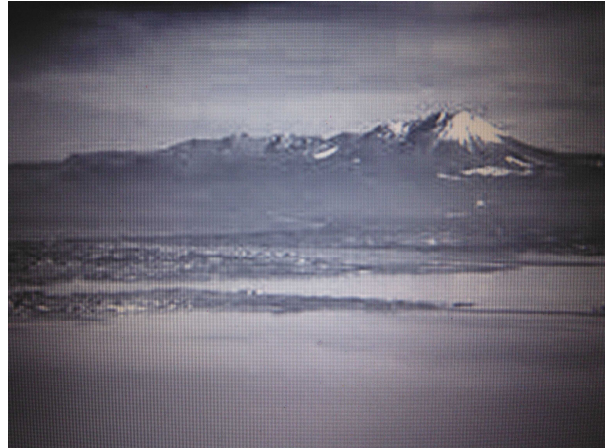
中海とキンクロハジロ

今年もたくさんの水鳥が中海にやってきました。

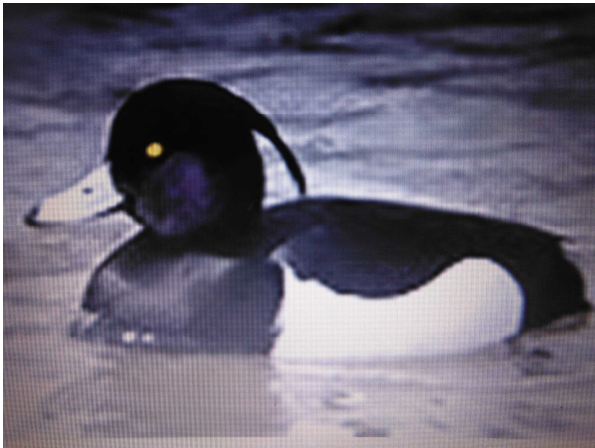
ユーラシア大陸やサハリン、カムチャッカから、数千キロにも及ぶ距離を命がけでやってくる鳥たちには改めて感心します。

昔から日本人に親しまれてきた渡り鳥と言えば、やはり「カモ」ではないでしょうか。

カモを見て季節を感じた古（いにしえ）の人々にとっては、ただの風物詩ではなく、冬場の貴重な食料でした。



最近、鳥インフルエンザで敬遠されがちな水鳥たちですが、毎年やってくる姿に心が癒やされます。



この季節、毎日のように鳥を見ている私は、中でもキンクロハジロが大好きです。

全体的にこぢんまりとした印象で、Donald Duckのようなくちばしに金色の目、雄は黒い体に白い帯が目立ち、頭に飾り羽根をつけています。

潜水カモの仲間、盛んに潜っては水草や二枚貝などを食べます。

飛来数が多く、沿岸から内陸のため池や川など、どこでも見られ、特に中海沿岸にたくさんの数を見ることができます。

鳥取県と島根県に隣接し、弓ヶ浜半島と島根半島に囲まれた中海は、日本の汽水湖の中で2番目の大きさを誇り、隣の宍道湖と合わせると日本最大の汽水湖です。

ヤマトシジミの一大産地の宍道湖には及びませんが、中海にもかなりの数が生息しており、シジミなどを餌とする潜水カモの仲間が多いのもうなずけます。

潜ることが得意なキンクロハジロやスズカモ、ホシハジロは盛んに潜っては二枚貝を丸呑みし、強靱な砂嚢（さのう）ですりつぶし、消化しています。

中海は、サルボウガイ（赤貝）の漁獲高が日本一を誇った時期があり、中海にやってくる渡り鳥たちの胃袋を満たしていたのかもしれない。

近年、中海産の赤貝が復活しつつあると聞きます。

いつか、中海産の赤貝を食べてみたいものです。

（文責 鳥取県西部総合事務所生活環境局 自然保護監視員）

